

(案)

次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議開催要綱

(趣旨)

第1条 トラックドライバーの労働力不足等が懸念され、モーダルシフトへの対応が求められる中、次世代高規格ユニットロードターミナル検討会とりまとめ（令和6年3月）を踏まえ、シャーシ・コンテナ位置管理等システムの効果検証を行うとともに、効果検証により得られた成果等をガイドラインにまとめ周知するなど、シャーシ・コンテナ位置管理等システムの導入を推進するため、次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議（以下「会議」という。）を開催する。

(構成員)

第2条 会議は、別紙に掲げる構成員をもって組織する。

- 2 座長は、会務を統括し、会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、構成員の追加又は関係者の出席を求めることができる。
- 4 座長に事故があるときは、有識者委員のうちから事務局が指名する者が、その職務を代行する。

(運営)

第3条 会議における配布資料及び議事要旨は原則として公表する。ただし、座長が必要と認めるときは、配布資料及び議事要旨の全部又は一部を公表しない。

(事務局)

第4条 事務局を国土交通省港湾局計画課に置き、会議の庶務を行う。

(雑則)

第5条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

附則

この要綱は、令和7年10月20日から施行する。

次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議 構成員名簿

(敬称略・順不同)

◎：座長

<有識者委員>

石黒	一彦	神戸大学大学院海事科学研究科准教授
加藤	博敏	流通経済大学客員講師
福田	大輔	東京大学大学院工学系研究科教授
◎ 根本	敏則	敬愛大学情報マネジメント学部特任教授
小川	雅史	国土技術政策総合研究所港湾・沿岸海洋研究部港湾システム研究室長

<内航海運業者（フェリー事業者、RORO 船事業者）>

佐々木	正美	新日本海フェリー（株）代表取締役常務
下永	智規	（株）商船三井さんふらわあ執行役員
辻	雅裕	阪九フェリー（株）執行役員関西本部長兼泉大津支店長
山口	和志	（株）名門大洋フェリー執行役員
石丸	重孝	オーシャントランス（株）営業企画部長・東京港支店長
楠	肇	栗林商船（株）専務取締役
中越	公一	川崎近海汽船（株）内航定期船第1部・第2部部長
古清水	朗保	近海郵船（株）営業企画部副部長
下地	秀明	琉球海運（株）取締役東京支店長
高梨	祐二	日本通運（株）国内定期船部専任部長

<オブザーバー（国土交通省）>

物流・自動車局 物流政策課、貨物流通事業課
海事局 内航課

<事務局（国土交通省）>

港湾局 計画課